資料3　通学路対策要望箇所図（中央地区）①

26-1：横断歩道，路面標示等が消えかかっており危険



（対策方法）
横断歩道の塗装

26-2：国道の抜け道で速度超過車両が多く危険
また，歩道のｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞが雨天時に滑り危険



（対策方法）
カラー舗装

26-3：速度超過車両が多く危険



（対策方法）
信号機を確認しやすくするために，樹木を伐採

26-4：道幅が狭く危険



（対策方法）
白線（外側線）の施工

26-5：横断歩道，路面標示が消えかかっており危険



（対策方法）
横断歩道の塗装

26-6：信号待ち車両横をすり抜け横断歩道を横切る自転車と接触の危険



（対策方法）
注意喚起の看板設置

26-7：上る車両と降りてくる児童の衝突の危険



（対策方法）
安全指導で対応

R3-17：歩道が一部狭くなっている。タイル張りで傾斜もある。



（対策方法）
歩道の拡幅，段差の解消

26-8：低学年児童は自動車専用信号が確認しづらく危険



（対策方法）
安全指導，見守りで対応
（隣接交差点に歩行者用信号機を設置）

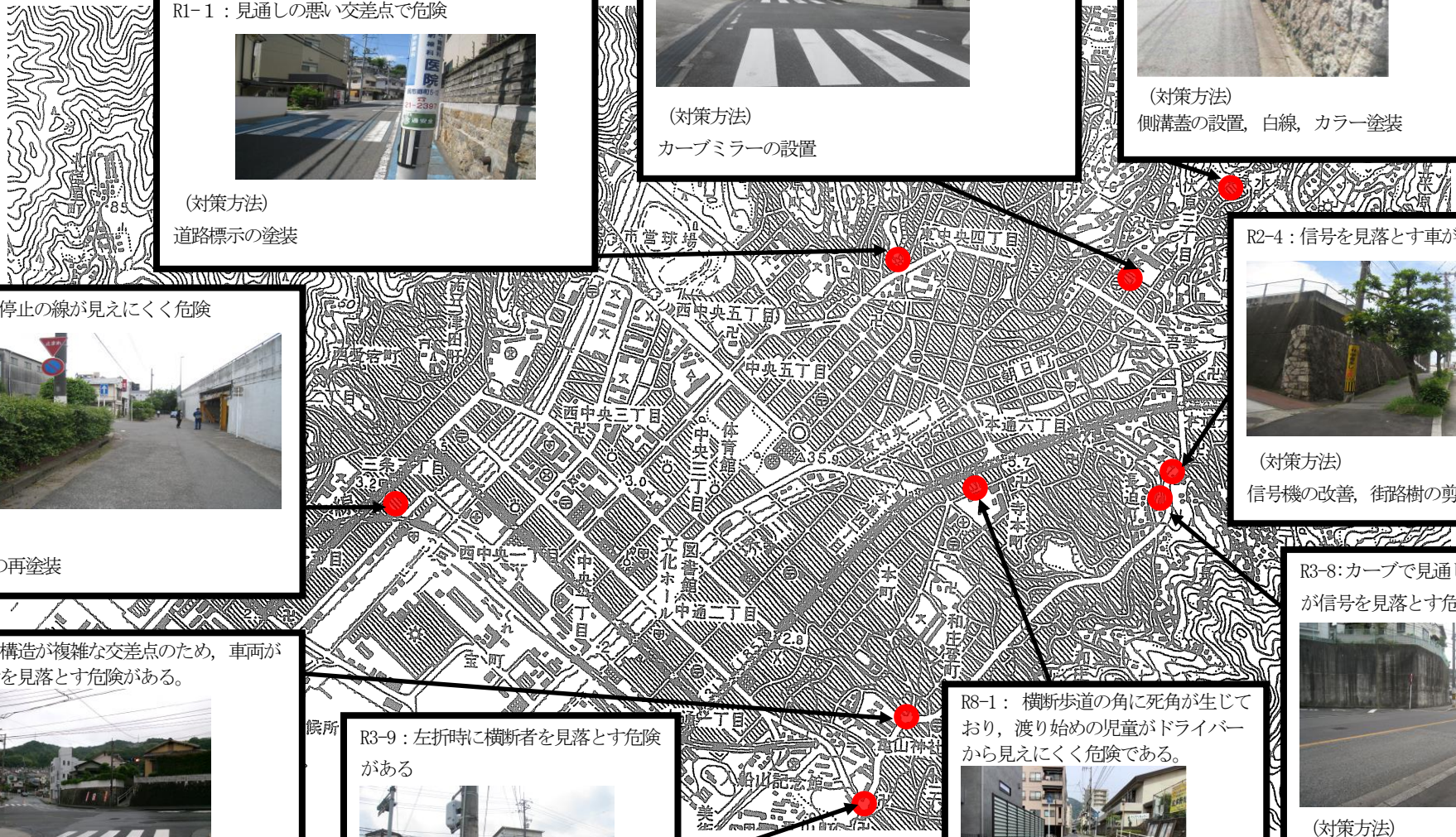
26-9：車両が歩行者を確認しづらく危険



（対策方法）
カーブミラーは設置できないが路面標示等



通学路対策要望箇所図（中央地区）②



R1-１：見通しの悪い交差点で危険

（対策方法）
道路標示の塗装

R1-3：見通しの悪い交差点で危険

（対策方法）
カーブミラーの設置

R3-1：車両を避けるスペースがなく，車両が児童に接触する危険性がある



（対策方法）
側溝蓋の設置，白線，カラー塗装

R2-4：信号を見落とす車がいて危険

（対策方法）
信号機の改善，街路樹の剪定

R4-１：一時停止の線が見えにくく危険

（対策方法）
一時停止線の再塗装

R6-2：構造が複雑な交差点のため，車両が横断者を見落とす危険がある。

（対策方法）
信号機を歩車分離式に変更
「横断注意」の路面標示

R3-9：左折時に横断者を見落とす危険がある



（対策方法）
注意喚起の看板の設置

R8-1：横断歩道の角に死角が生じており，渡り始めの児童がドライバーから見えにくく危険である。

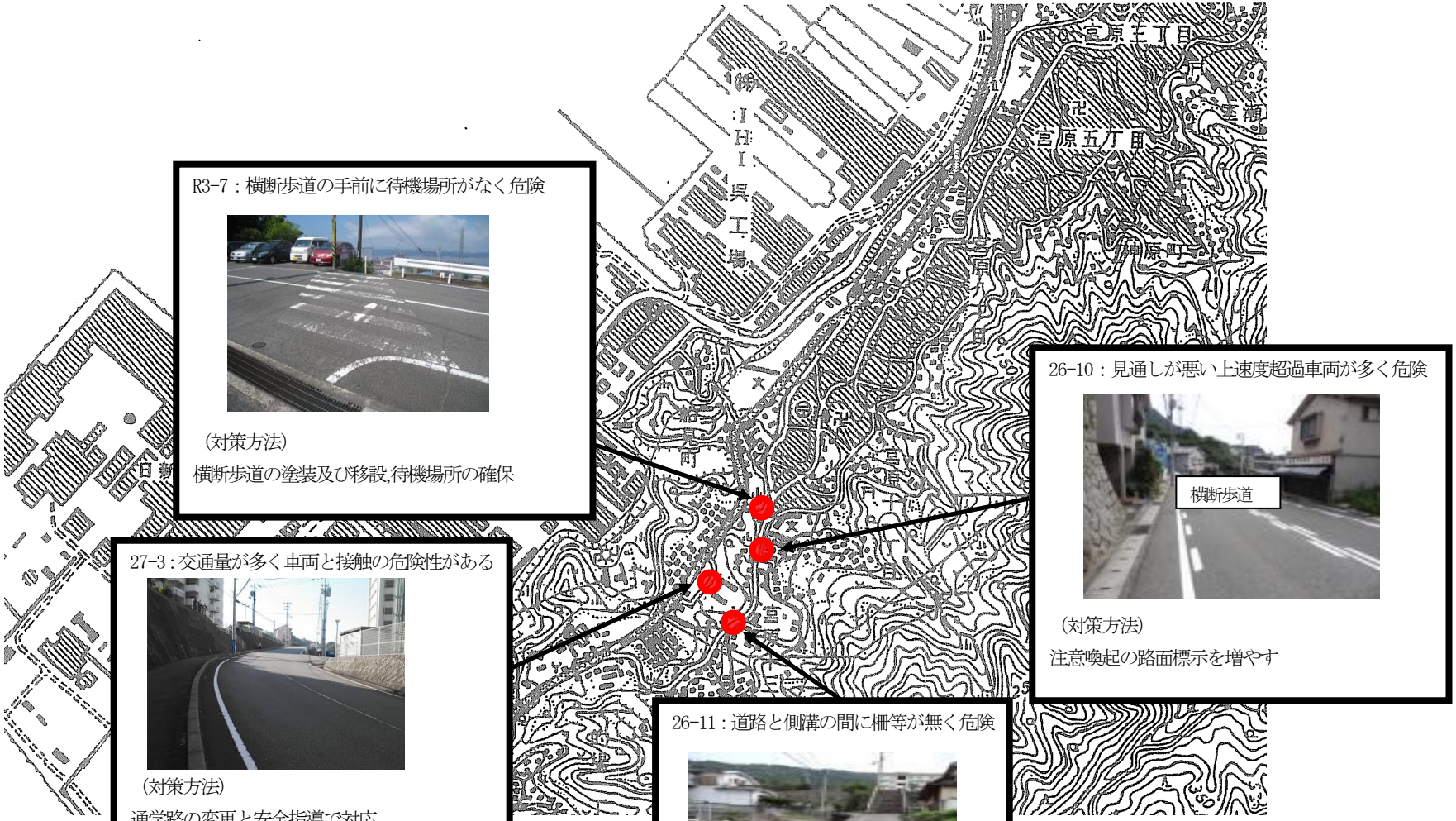


（対策方法）
横断歩道の移設
ドライバーへの注意を促す路面表示

R3-8：カーブで見通しが悪く，運転手が信号を見落とす危険がある

（対策方法）
注意喚起の路面標示

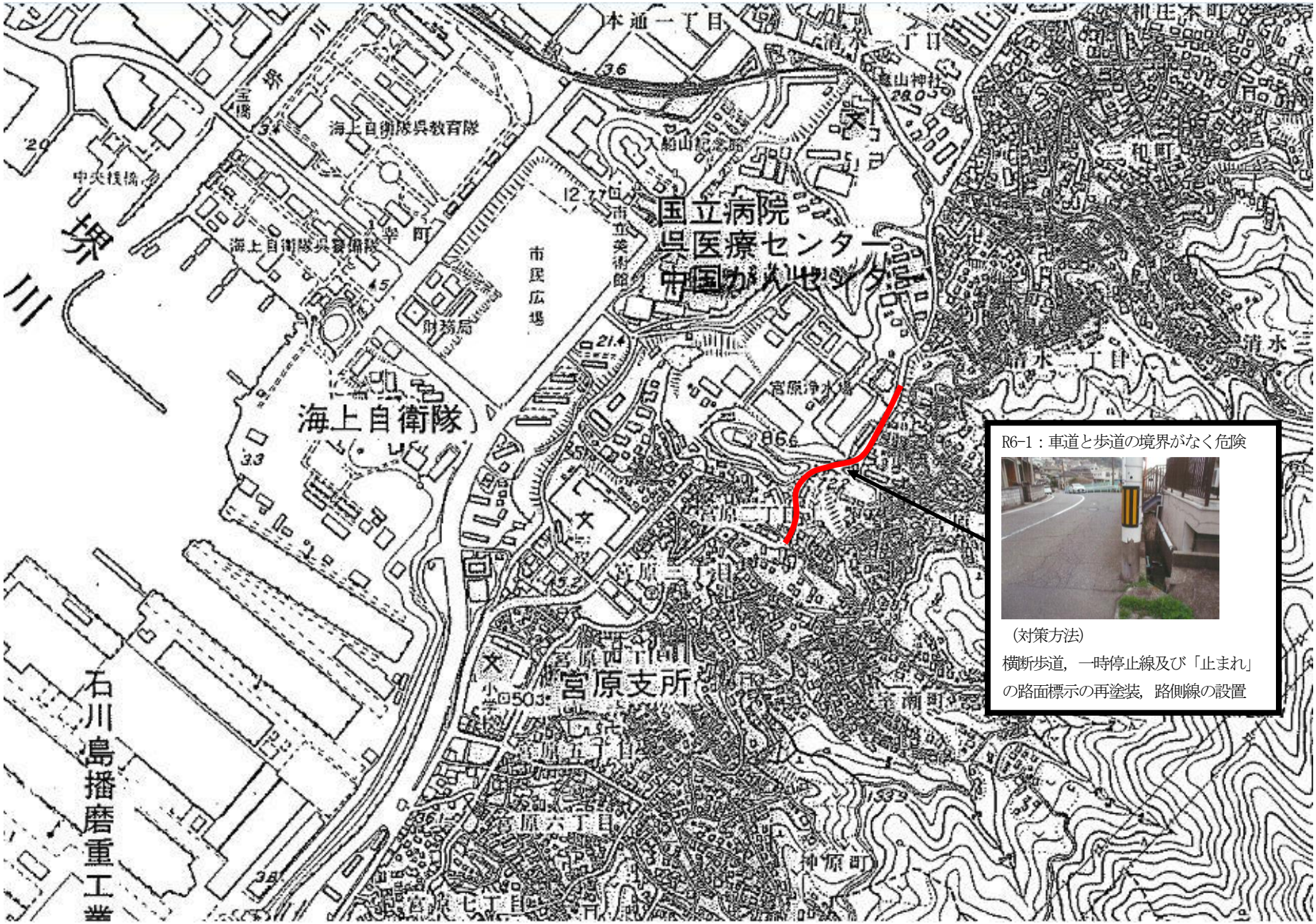
通学路対策要望箇所図（宮原地区）①



通学路対策要望箇所図（宮原地区）②



通学路対策要望箇所図（宮原地区）③



通学路対策要望箇所図（中央地区）③

28-1：路面標示等が消えかけているため運転手が確認しづらくなっており，速度超過の車両と生徒が接触の危険



（対策方法）
横断歩道と一時停止線を再塗装

26-41：バス停からカーブが近いために，速度超過の車両と児童の衝突の危険性がある



（対策方法）
カーブ手前に，注意喚起の路面標示
バス停がよく見えるように樹木を伐採

28-11：車両を避けるスペースがなく，溝に転落する恐れがある



（対策方法）
蓋の設置

R1-4：車両を避けるスペースがなく，車両が児童に接触する危険性がある



（対策方法）
側溝蓋の設置

28-14：車両を避けるスペースがなく，溝に転落する恐れがある



（対策方法）
蓋の設置

28-17：速度超過した車両と接触する危険性がある



（対策方法）
信号機の設置継続

28-7：外側線が消え，車両と生徒が接触する危険性がある



（対策方法）
車道外側線の再塗装

30-6：歩道が狭く，バス停でバスを待つ人を避けるため，歩道からはみ出して通行する必要があり危険



（対策方法）
通学路の変更と安全指導で対応

30-8：交差点が複雑なために横断中の児童生徒と車両が接触する危険性がある



（対策方法）
横断歩道の塗装

29-4：交差点が複雑なために横断中の児童生徒と車両が接触する危険性がある



（対策方法）
横断歩道の塗装